

△産業宣教/重職者大学院連合礼拝 アナニヤの 25 時(使 9:1-15)	△レムナント伝道学 レムナントの見張り台 (イザ 62:6-12)	△核心 オリーブ山の契約成就(使 1:1, 3, 8)	△散らされた弟子たち 散らされた者の急務な プラットフォーム(使 1:8)
<p>□序論_70 - 「重職者のやぐら」</p> <p>1. 弟子-産業人重職者の最も大きな答えは 70 弟子 2. 地域- 70 地域 3. 国- 70 か国につながる</p> <p>必要 現場の人に必要なのは三つだ。真の解放と救い、カ 影響 70 人弟子と 70 長老がこの影響を与えた</p> <p>1. 出 2:1-10 モーセの母の選択の祝福が弟子、地域、70 か国以上 に影響</p> <p>2. 出 3:18-20 出エジプトの働き、出 18:1-21 イテロ長老、ヨシ ユア、カレブ、ラハブのゆえに出エジプトとカナン入国が完 成</p> <p>3. 雅 4:1-5 全国に干か所作ったダビデ。イスラエル全体を保護 I 列 18:1-15 最も難しい時にやぐらを作ったオバデヤ</p> <p>4. ダニ 1:8-9 捕虜として行ってまた、やぐらを建てたのだ。 エス 2:10、エス 4:1-16 モルデカイとエステル対話。理由 を分かった。</p> <p>5. ロマ 16 章 人を生かすやぐらを建てた</p> <p>□本論_今が機会だ。</p> <p>1. 神様の時刻表の中にある。</p> <p>1) ルカ 10:1-20 70 人に選ばれた人々</p> <p>2) 使 1:11-15 オリーブ山で昇天された後に集まり始め</p> <p>3) 使 9:10 祈りは御座を味わって神様の時刻表の中にある こと。このことを分かれば礼拝をささげること自体が祝福</p> <p>2. パウロの時刻表</p> <p>注のしもべ 副教役者がいくら少なくとも、その働きの中に 私がいなければならない。</p> <p>1) 神様の時刻表に迫害者パウロ(使 9:1-2)を折ったこと</p> <p>2) キリストの出会い(使 9:3-9) 3) この働きにアナニヤ(使 9:10)を呼ばれたこと</p> <p>3. 世界福音化という証拠の時刻表(使 9:15)の中にあるように なる</p> <p>1) わたしの名を異邦人 2) 王たち</p> <p>3) イスラエル子孫に伝えるために選んだ器</p> <p>□ロマ 16 章</p> <p>これは世界福音化、ロマ 16 章の時刻表の中に入ったのだ。 重大院連合礼拝の理由は、最初に重職者が起きて核心時代、金 土日時代を開いて、レムナントが祈りの答えを受けよう にして送り出さなければならない。二つ目、未自立教会、多くの 主のしもべが伝道現場も行くようにすることだ。</p> <p>□結論_決断</p> <p>決断を下す瞬間、たましいの中に刻印される。刻印されたこと は根をおろして、運命が変わる体質になる。</p> <p>創 13:14-18 アブラハムはロトが離れた以後に決断を下して、祭 壇を築き始めた。みなさんがみことばをしっかりと握って決断す れば祈りが始まる。</p>	<p>□序論_専門性を見つけようとする ならタラントを見つけなければ、 祈りで見つけるべき</p> <p>順序 - Priority(優先) 3・9・3</p> <p>学業</p> <p>時代</p> <p>光-やぐらを作る理由</p> <p>1. 光が先に現れる部分がタラント</p> <p>1) Heavenly Power 2) Talent 3) Mission</p> <p>2. 神様(学業)</p> <p>1) 私 2) 私のこと 3) 私の現場</p> <p>3. 絶対に揺れない内容、見張り台</p> <p>1) 創 1:3 創造の光</p> <p>2) ヨハ 1:11 光として来られた イエス マタ 5:13-16 私は光</p> <p>3) I ペテ 2:9 光を現わすために</p> <p>□本論</p> <p>1. RT7 が時代の見張り人として強 大國を生かすために王に光を照 らして 237 にまで伝達</p> <p>2. 現場を生かす見張り人</p> <p>1) インマヌエルを伝えること</p> <p>2) 光を放ってすべてを回復</p> <p>3) 万民を生かす旗</p> <p>3. 永遠の背景の光の見張り人</p> <p>1) 新しい天、新しい地</p> <p>2) 名がいつまでも -救われた者の背景</p> <p>3) 礼拝-最も価値あること(永遠)</p> <p>□結論</p> <p>WIO 私を考え重要 X OUR 私の主張が重要 X 7 大旅程</p> <p>1) 三位一体の神様が ともに</p> <p>2) 危機でも生存</p> <p>3) みことばの確信</p> <p>4) 流れ変更</p> <p>5) 5 つの確信</p> <p>6) 一生のこと セッティング - 62 生活</p> <p>7) 御座の祝福-祈り、礼拝</p>	<p>みことばを聞くとき、決断を下す時間が重要だ。そのとき、やぐらが作られる。</p> <p>□序論</p> <p>最高のやぐら-キリスト、キリスト-終わり、体験(確認)できればやぐらが作られる</p> <p>△キリストで終わらなければ、サタンが全く恐れず、やぐらがないのだ</p> <p>1. 時刻表(カル・オリ・マルの契約が完全に終わったこと)</p> <p>2. 内容(3・9・3) -三位一体の神様がともに、御座の祝福、地の果てまで証人となる ほどの 3 時代</p> <p>3. キリストが成就</p> <p>1) マタ 28:20 世の終わりまでいつもともに</p> <p>2) マコ 16:18-20 御座に着かれたキリストがともに</p> <p>3) 使 1:8 聖霊で働き、地の果てまで証人</p> <p>ステパノの死(使 7:60)</p> <p>1. サマリヤに開く伝道の門 2. エチオピア宦官が福音を知るようになった。</p> <p>3. サウロがひざまずいた。 4. アンテオケ教会誕生 5. ヘロデ王を召された神様</p> <p>□本論_現場の働き-私はキリストで終わったのか確認</p> <p>1. 迫害者→伝道者に</p> <p>1) 弟子と合宿 2) 会堂に入って伝道 3) 驚く人々</p> <p>4) イエスがキリストだと宣べ伝え</p> <p>5) ユダヤ人がパウロを殺そうとしたが殺せなかった。</p> <p>△祈りとみことばでキリストのやぐらを作りなさい。すると、たましいの中に刻印 されて、働きが起る。</p> <p>2. 漁師→人を生かすいやし能力者に</p> <p>1) あらゆる所にやぐらを作ったペテロ</p> <p>2) 中風の病人をいやし。イエス・キリストがあなたをいやすことができるので す。立ち上がりなさい。そして自分で床を整えなさい。</p> <p>3) ルダ、サロンの人々がみな主に立ち返ってきた(35 節)</p> <p>△キリストのやぐらは世界を生かす(I ペテ 2:9)</p> <p>3. 女の弟子</p> <p>1) 善行、救済-当然のこと。多くの人を生かした。</p> <p>2) 女の弟子-人を生かす答えを持っていれば弟子になる。</p> <p>3) 死んだタビタ-生かしたペテロ。必ず生きなければならない人、これが弟子だ。</p> <p>□結論_-私たちがパウロよりもっと大きい恵みを受けることができる。</p> <p>1. 使 9:15 私の使命は何か質問すべき</p> <p>2. 使 11:25-26 みことばから整理されて刻印されるべき</p> <p>3. 使 13:1-4 答えから先に受けるべき</p> <p>4. 使 16:6-10 うまくいかないこと-より良いターニングポイント</p> <p>5. 使 19:1-7 マルコの屋上の間に起こった答えそのまま</p> <p>6. 使 19:21、23:11、27:24 ローマ、カイザルの前に立たなければならない。</p> <p>7. ガラ 2:20、II コリ 5:17、ピリ 3:1-21 私は死んでキリストが私の中に、新しい被 造物、ちりあくと、キリストに捕えられたこと、上から召された報い、天国の国 籍、万物を服従させる御名、その方が私とともに-正しくやぐら完成したこと</p>	<p>□序論</p> <p>1. 散らされた弟子は動く見張り人 (やぐら)</p> <p>1) みなさんは残りの者</p> <p>2) 難しくても巡礼者の道を歩む こと</p> <p>3) 暗やみを征服する征服者</p> <p>2. 暗い所を見つける見張り人</p> <p>1) わざわい地帯 2) 死角地帯</p> <p>3) わざわい地帯、死角地帯がみ なさんが行けば黄金漁場にな る。</p> <p>3. 隠された者を見つける見張り人</p> <p>1) 寄留者の中に弟子がいるため</p> <p>2) 捨てられた者を見つけること</p> <p>3) その人が備えられた者だ</p> <p>□本論</p> <p>1. 12 使徒はどんなやぐらをや?</p> <p>1) 三位一体の神様の臨在</p> <p>2) 御座-神の国とそのことの -臨在</p> <p>3) 聖霊の力と-その証拠の臨在</p> <p>全世界にやぐらを作りなさい祈り のやぐらに先に建てること</p> <p>2. 70 弟子</p> <p>ここに(使 1:11-15)にいた人々 使 2:9-11 15 か国の産業人が集 まったところにいた人々 使 6:1-7 この中で重職者として 特別に授け</p> <p>使 11:19 この人たちがアンテオ ケ教会を建てる</p> <p>使 13:1 この人たちが宣教師と して派遣される</p> <p>全地域にやぐらを建てなさい</p> <p>3. 237-5000 全世界に行く道は学校 とレムナント</p> <p>1) 使 17:1 2) 使 18:4 3) 使 19:8</p> <p>レムナントのやぐらを作りなさい</p> <p>□結論</p> <p>祈りのやぐら 現場のやぐら</p> <p>その中に必ず弟子が出る。弟子の やぐら</p>

△区域メッセージ (第 12 週) 1・3・8 旅程と 25 の答え(使 1:1-8)		△聖日 1 部礼拝 世界を変えた真の英雄の告白(ロマ 1:1-7)	△聖日 2 部礼拝 伝道者の祈りの中にいる者(ロマ 1:8-17)
三位一体	御座、神の国、時空、237 創 1:27、2:7、2:18 空前絶後(3)	3 時代	
<p>△キリストという単語で三位一体の神様が私の中に臨む。御座の祝福が私に臨むとき、神の国と言うのだ。神の国が臨むと、時空超越と 237 に答えが来る。これが私のいのちの中に根本的に臨まなければならないことが祈りで、礼拝だ。このことが私のたましいの中に臨んで、生きるのだ。私の人生、生活の中に臨む。私と教会、現場に空前絶後の答えが臨む。しかし(ただ)聖霊に満たされるから 3 時代が開かれる。レムナントに過去、今日、未来を準備させて送り出さなければならない。</p> <p>□序論</p> <p>1. 朝-考え-朝に起きれば思い出すことを祈るのだ。</p> <p>2. 昼-出会い-昼にはいろいろな出会いがあるが、それを祈りに変えるのだ。</p> <p>3. 夜-集中-メッセージを握って集中するのだ。続けるとき、どんなことが起こるのか?</p> <p>□本論</p> <p>1. 伝道者</p> <p>1) 使 1:1 <u>ただ</u> キリストという、ただの中に私がいるのだ。</p> <p>2) 使 1:3 <u>唯一性</u> 神の国少しだけ祈れば他の人が受けられない答え、唯一性の答えが来る。</p> <p>3) 使 1:8 <u>再創造</u> 聖霊の満たし以降、再創造の答えが来る。</p> <p>2. 祈り</p> <p>1) 私に働き-三位一体の神様が私に働かれるのだ。</p> <p>2) 御座が臨むこと-御座の力が臨むのだ。</p> <p>3) 3 時代- 3 時代の答えが出て、伝道者はこの中にいて、これが祈りだ。</p> <p>3. 重要な目</p> <p>1) 時刻表-私が神様の時刻表の中にあるようになる。それゆえ、イエスが 40 日間この話をされた。</p> <p>2) W10、OURS、24・25・00 -神様が私とともにおられ、インマヌエル、ワンネスの目が見える。それゆえ、ただ・唯一性・再創造がシステムとして作られる。いよいよ 24・25・00 の答えが来る。</p> <p>3) 237・いやし・サミット- 237 か国を生かす座にいるようになって、レムナントがすべての所にいる者をいやすようになる。幼いが、霊的にサミットになることができる。</p> <p>□結論_刻印、旅程-<u>Every</u></p> <p>この祝福が刻印されれば、必ず必要な旅程を行くようになる。誰も助けなくて、何も無い所に行って、すべてを生かすようになる。これがレムナントだ。そうすれば、あえて答えが来なくても、利益がなくても大丈夫だ。それ自身が答えだ。</p>		<p>□序論_3 今日で人生やぐらを作れ。</p> <p>1. みなさんを見張り人として立てたので祈り、みことば、証拠で人生のやぐらを作りなさい。</p> <p>1) 編集-質問することによって、みことばで答えが出てき始め</p> <p>2) 設計-神様の計画が見えるので祈り始め</p> <p>3) デザイン-証拠が来て伝道が見え始め</p> <p>2. 地上で最も影響を与えた真の英雄-パウロ</p> <p>△ローマ人への手紙-パウロは開拓しなかったが世界を掌握しているローマにある教会に送った手紙</p> <p>1) ローマにまで福音が入るようにマケドニア全域で福音を広げたパウロ</p> <p>2) 奴隷制度を廃止させた最初のメッセンジャー(ガラ 3:28)</p> <p>3) パウロのみことばをルターが引用してヨーロッパ全域をひっくり返した(ロマ 1:16-17)</p> <p>3. 世界を生かすすばらしいやぐらを築いたパウロ</p> <p>1) やぐらを建てた理由-パウロの一生の願いであるローマ福音化のため(使 19:21、23:11、27:24)</p> <p>2) 聖書に答えを受けた証人</p> <p>(1) ヨケベデ-イスラエルの次世代がみな殺されることになったとき、息子を王宮へ送ることを決定</p> <p>(2) オバデヤ-100 人の預言者を隠したこと(7 千弟子運動、ドタンの町運動、戦わないで勝利)</p> <p>3) ローマを生かす見張り人のやぐらを建てたパウロ-ローマ人への手紙を伝えた(フィベ)</p> <p>△神殿建築のやぐらは 237・いやし・サミットと三つの庭、副役者のやぐらは伝道のやぐら、重職者のやぐらは時代を生かすロマ 16 章のやぐら</p> <p>□本論_パウロが建てたやぐら</p> <p>1. 世界の暗やみを止めるための残りの者を育てるやぐら</p> <p>1) ロマ 1:1 神様の福音のために選び分けられたので</p> <p>2) ロマ 1:2 預言者によってあらかじめ約束されたもの</p> <p>3) ロマ 1:6 あなたがたも同じ召しを受けた</p> <p>4) 福音を持っている残りの者を通して、神様は残る者、残れる者、残す者に継続されること</p> <p>2. 巡礼者を助けるやぐら</p> <p>1) 70 年イスラエル滅亡、79 年ポンペイ爆発、313 年ローマ福音化、以後多くの戦争で散らされながら全世界に福音が宣べ伝えられ始め</p> <p>2) ロマ 1:5 御名のために異邦人の中で信じるようになるため</p> <p>3) イスパニヤまで行かなければならない-福音で暗やみを止めなければならないため</p> <p>3. 次世代のわざわいを止める征服者のやぐら</p> <p>1) 暗やみ勢力を征服する征服者を助けるやぐらを立てたこと</p> <p>2) 神様が最も願われることを持ってやぐらを立てて見張り人の役割をした人々は答えを受けて人生が変わった。</p> <p>3) 教会が争う理由はやぐらが無いため</p> <p>□結論_なぜ霊的問題が解決しないのか</p> <p>1. やぐらとともにホレブ山に行ったモーセ</p> <p>2. イエス様が 40 日間神の国のことを説明</p> <p>3. マルコの屋上の間で 10 日集中祈り</p>	<p>伝道者-光を持っているので見張り人として立てられる</p> <p>やぐらから作ること</p> <p>学業、職業、産業、牧会-光の産業(光の力を味わってしなさい)</p> <p>1. RT7-ヨセフが行く所は全部やぐら</p> <p>2. 重職者-オバデヤ、ロマ 16 章の人々が光のやぐらを立てた人々</p> <p>3. 初代教会が使った戦略(20 戦略がやぐら)</p> <p>(使 2:9-11 15 か国産業人、使 8:4-8、26-40 サマリヤ、エチオピア宦官、使 10:1-45 コルネリオ-やぐら)</p> <p>△あなたたちに会うことを切に望む(11 節) -ローマに光のやぐらを立てることを切に願った、パウロ</p> <p>ローマ人への手紙の鍵は光のやぐら作ること。光のやぐらを味わってれば伝道者の祈りの中にいるしかない(ロマ 1:9)</p> <p>□序論_やぐら</p> <p>1. 構想 1) 見張り人になる人 2) やぐらたてる人 3) 憩い、いやし(光)、力を得る所</p> <p>2. 奥義</p> <p>1) 創 1:3 創造の光 2) イザ 60:1-2 栄光の光</p> <p>3) ヨハ 1:11 光として来られたイエス様</p> <p>4) マタ 5:13-16 あなたがたは世界の光なので、光をつけて照らせよ。</p> <p>5) I ペテ 2:9 この光を現わすために呼んだ。</p> <p>3. 三位一体の神様の導きを受けること</p> <p>1) 重要な始まり-人 2) 過程-やぐら持続 3) 回復-弟子が目標 →現場中心の人を立てなさい</p> <p>□本論_答えから受けることが伝道</p> <p>1. ローマ福音化以前(8-9 節)-<u>プラットフォーム</u>- <u>70 人</u>が動く</p> <p>1) カルバリの丘で全てのもの解決して復活</p> <p>2) オリーブ山で神の国のことを説明</p> <p>3) マルコの屋上の間(未来を知らせる力与えられた)-<u>8・9・3</u>の力が臨んだ</p> <p>2. ローマ福音化の実際の状況(14 節)-<u>負債を負った者</u>- <u>237</u> (光)-<u>見張り台</u></p> <p>1) 使 11:19 アンテオケ教会 2) 使 13:1-4 迫害者が宣教師として派遣</p> <p>3) 使 19:21 ローマも見なければならぬ 4) 使 23:11 神様が直接語られる</p> <p>5) 使 27:24 カイザルの前に立たなければならない</p> <p>△祈りは 237 を疎通できる聖霊の働き、神様のみことば信じれば働き</p> <p>3. ローマ福音化以降(16-17 節)-<u>アンテナ</u>- <u>5000</u>種族に疎通が起こる</p> <p>1) 使 13:1-4、16:6-10、19:1-7 聖霊の導きを受けるために、転換点、マルコの屋上の間の働き再現</p> <p>2) 使 17:1、18:4、19:8 会堂-レムナントでなければ</p> <p>3) 使 16:15、17:6、18:1-4 地域ごとに弟子が立った</p> <p>□結論_やぐらだけ建てる<u>見張り人伝道チーム</u>構成</p> <p>1. ロマ 16:25-27 重職者-永遠の前から隠しておかれたことを今与えられる</p> <p>2. ピリ 3:21 主のしもべ-万物を服従させるイエス・キリストの權威</p> <p>3. ローマ福音化-レムナント</p>